

物価対策 一步前進

介護・障害者・保育等へ経済支援 実現

補正予算で実現した経済対策	事業費
子育て世帯への支援 (0才～就学前児童は市独自策)	4億3338万円
家電買替支援(節電型)	1億4126万円
障害者・介護の事業所支援	1億1499万円
私立保育園等の支援	7830万円
学校給食の食材支援 (保護者負担の据え置き)	6629万円



5月17日、市長へ要請する党市議団(左から2番目がおだぎりたかし市議)



日本共産党 流山市議会議員

おだぎりたかし

流山民報(23.7.5) 小田桐090-8567-8858

7月12日閉会予定の流山市議会第1回定例会では、物価や電気代等の高騰対策が、また前進しました。いっぽう、水道料金の引き下げなど全市民的な対策は盛り込まれませんでした。とくに、子どもへの支援では、0才〜高校1年生への支援はある一方、高校2、3年生だけが対象外とされるなど、課題を残しました。

おだぎりたかし市議は、総務委員会で唯一、受験や部活動など実態を示し、高校2、3年生への支援を追求しました。

給食無償化 請願に賛成

また、教育福祉委員会には、学校給食完全無償化等を求める「請願書」が審査され、日本共産党いぬいえり議員が賛成討論を行いました。